

本FAXは、お客様、お問い合わせいただいた方、お名刺を頂戴した方、サンプル請求して頂いた方にお送りしています。

■ 巻頭言

昨日は激しい雷と豪雨。そして今日は一転晴天です。梅雨が明けたのでしょうか？

さて、ご存知の方もいらっしゃると思いますが、新神戸駅の近くに布引の滝があります。六甲山の麓を流れる生田川の中流（布引渓流）に位置し、上流から順に、雄滝（おんたき）、夫婦滝（めおとだき）、鼓滝（つづみだき）、雌滝（めんだき）と続きます。和歌山県那智

勝浦町的那智滝、栃木県日光市の華厳滝とともに三大神滝とされ、日本の滝百選に選ばれているそうです。

滝と言えばマイナスイオンが一杯とか。暑い夏に涼しい滝の傍でマイナスイオンを一杯浴びてリフレッシュされては如何でしょうか？

（代表取締役 鈴木克尚）



■ 技術情報：レクサスに採用された「モルフォ蝶の青」

少し前に、レクサスでStructural Blue（ストラクチャル・ブルー、カラーコード8Y0）という特別色が発売されたのは皆様ご存知かと思います。これは、モルフォ蝶の美しく輝く羽に発想を得た、青系の特殊なカラーです。

モルフォ蝶は主に南米に生息する、鮮やかな青い羽が特徴の美しい蝶です。面白いことに、羽が青く見えるのに、鱗粉には青の色素を含んでいません。では何故青く見えるかかという、「構造」によって光の波長が操作され、結果として青が発色する仕組みだそうです。

モルフォ蝶の羽についている鱗粉を電子顕微鏡で見ると、その表面には格子状（ストライプ）の溝があるそうです。そして、その溝の側面には0.2ミクロン程の間隔で棚状のヒダが形成されています。

この構造が光の中の青い波長だけを強めるので、実際には青い色素が含まれていなくても、我々にはまばゆく美しい青色に見えるそうです。

レクサス Structural Blueでは、ナノテクノロジーによりモルフォ蝶の鱗粉の構造を再現し、青の色素を含まないのに青く見える塗膜を作り出すことに成功したそうです。

なお、補修に際しては、専用原色が必要になります。アクサルタでも水性塗料CROMAX PROで専用原色が設定されていますが、前述の通り特殊な色のため、調色システムでは表示されません。もし補修で必要になった場合は、まずは一度お問い合わせください。

（本社 佐々木）



■ スタッフコラム

今月の担当は、四国担当の中山です。



先週、今が旬のとうもろこしを収穫しました。今年は久しぶりに虫の被害も少なく美味しい物ができました。糖度は、桃より甘い15度ぐらいでしょうか。ナマでも十分たべられます。電子レンジでチンして食べると甘みが増したような気がしました。消毒は全くしていません。

生産量のトップは当然北海道ですが、最近は朝採一番糖度20度スーパースイートコーンがあるそうですが、一度は食べてみたいものですね。



本ニュースレターは、お客様、お名刺を頂戴した方、お問合せやサンプルを請求頂いた方にお送りしています。ご不要の場合は、お手数をおかけして申し訳ございませんが、下記にチェックし、貴社名をご記入の上ご返信ください。

→ ニュースレターの配信を解除します

（お名前： _____）

発行：株式会社グローバルズキ

兵庫県神戸市灘区域の下通2-3-31

TEL：078-200-6531

FAX：078-200-6537